

令和4年度事務事業評価（令和3年度事業評価）

子育て支援部

所属名	事務事業名	ページ番号
子育て総務課	児童クラブ運営事業	2
子育て総務課	障害児学童保育事業	3
子育て総務課	病児・病後児保育事業	4
子育て総務課	子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業	5
子育て総務課	発達障がい児支援事業	6
子育て総務課	児童発達支援事業	7
子育て総務課	子育て支援情報発信事業	8
子育て総務課	児童センター管理運営事業	9

令和4年度 事務事業進捗報告シート

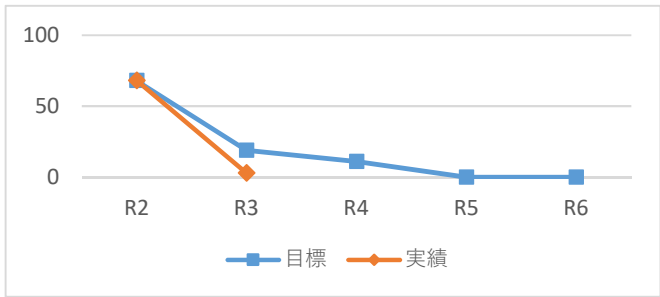
事務事業名	児童クラブ運営事業	事業期間	昭和 52 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童福祉法の規定に基づき、保護者が就労等により昼間家庭にいないことが常態である小学生の児童を対象に、小学校に児童クラブを設置し指導員を配置して放課後の適切な遊び場と生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。				
事業の対象者	保護者が就労等で昼間家庭にいない、市内の小学校に通学する留守家庭児童				
令和3年度 主な活動実績	市内35小学校区のうち34校区及び附属小学校で児童クラブを実施し、児童の健全育成を行った。また、待機児童が発生していた校区において、近隣保育施設への業務委託により新たに児童クラブを開設した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	504,105	447,532			
うち佐賀市の負担額	90,323	95,729			

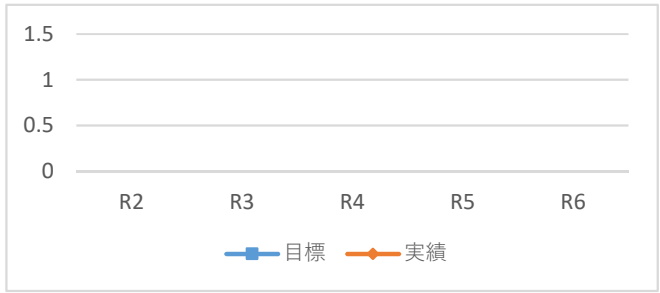
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
待機児童数（毎年度5月現在 小学校1～3年生）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	19 3	11	0	0		



年度	目標	実績
R2	68	68
R3	19	3
R4	11	11
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	待機児童がいる校区において、近隣保育施設への業務委託により新たに児童クラブを開設した。



成果目標達成に向けた対応策等
待機児童がいるクラブを優先的に、見込み数に応じて専用区画等を確保し、受け入れ可能数を拡大する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	障害児学童保育事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	特別支援学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない者に対し、授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。				
事業の対象者	保護者が就労等で昼間家庭にいない各特別支援学校に通学する小学1年生から高校3年生までの児童生徒				
令和3年度 主な活動実績	【実施日数】 チャレンジクラブ：279日、大和かがやきクラブ：279日 登録児童数（R3年度） チャレンジクラブ（金立特別支援学校内）：入所4人・一時6人 大和かがやきクラブ（大和特別支援学校内）：入所24人・一時17人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	34,798	35,734			
うち佐賀市の負担額	16,558	15,488			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ利用者数（チャレンジクラブ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
724	700 631	900	900	900		

成果指標②						単位
延べ利用者数（大和かがやきクラブ）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,591	1,600 1,796	2,300	2,300	2,300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	チャレンジクラブ、大和かがやきクラブともに放課後デイサービスを利用する保護者が増えているため、延べ利用者数は減少傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
入学説明会への参加等、引き続き保護者へ広く周知を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	病児・病後児保育事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育てと仕事の両立のための支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	保護者の仕事と生活の両立の支援及び子どもの健全育成のため、保護者が仕事の都合などで、病中・病後回復期にある子どもを自宅で世話することが難しい場合に、小児科医院に併設した保育室で一時的に保育を行う。				
事業の対象者	生後2か月から小学校3年生の児童				
令和3年度 主な活動実績	かるがものへや（おおたゆうこ小児科内）、ぞうさん保育室（橋野こどもクリニック内）の2か所で実施（延べ667人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	25,773	27,109			
うち佐賀市の負担額	9,812	10,976			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
延べ利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
626	1,000 667	1,200	1,200	1,200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が想定よりも少ない状況である。

成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症に伴い利用者数は減少しているが、地域に出向いて季節の感染症等の情報提供や衛生指導を行う中で、病児・病後児保育の周知を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子どもの学習支援を兼ねた居場所づくり事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	家庭環境によってさまざまな困難を抱える子どもに対し、学習支援や遊び場の提供等を通じて地域における居場所をつくり、多面的な支援を行うことで、子どもの心・体・学習の健やかな成長に繋げ、貧困をはじめとした負の連鎖の解消を図る。				
事業の対象者	学校や家庭以外に居場所を求める子ども				
令和3年度 主な活動実績	居場所づくりの新規立ち上げ及び拡充に伴う補助（上限10万円） 2か所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,351	3,065			
うち佐賀市の負担額	2,351	3,065			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
こどもの居場所						箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	12 16	18	18	18		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	市から補助金を交付した団体以外でも子どもの居場所の立ち上げがあり、箇所数が増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
より多くの市民が子どもの居場所づくりに主体的に関わる機会が増え、子どもの居場所の増加につながるように、各団体の取り組みや制度の周知に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	発達障がい児支援事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	16共生社会をめざす障がい者福祉の充実	
	基本事業	地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	1歳6か月健診時に発達障がい疑われた児童に対して、日常生活や集団生活への適応を図るために、職員が発達検査や面談等を行うとともに、必要に応じて、専門の医療機関での受診の機会を提供する。 市内児童発達支援事業所等に対して、「クラスルームという」の療育ノウハウを共有する実践研修を行う。				
事業の対象者	発達障がいの疑いがある児童、市内児童発達支援事業所等				
令和3年度 主な活動実績	1歳6か月健診時に発達障がい疑われる児童に対する発達検査や面談等の実施 131回 市内児童発達支援事業所等に対する療育実践研修 前期・後期各5回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,551	4,513			
うち佐賀市の負担額	4,551	4,513			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
医療機関受診者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
20	20 11	20	20	20		

成果指標②						単位
療育実践研修参加事業所数						事業所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	7 7	7	7	7		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	1歳6か月健診から案内される児童の減少により、専門の医療機関受診者数が減少した。 市内児童発達支援事業所等に対する療育実践研修は、「クラスルームという」の療育ノウハウが参加者の所属事業所等に共有された。

成果目標達成に向けた対応策等

早期発見や早期診断の機会を設けることで、早い時期からの支援につなげ、日常生活や集団生活への適応を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童発達支援事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
	施策	16共生社会をめざす障がい者福祉の充実	
	基本事業	地域生活への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童福祉法に基づく市直営の児童発達支援事業所「クラスルームという」において、発達障がいと診断された未就学児を対象とした支援を行うことで、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応を図る。				
事業の対象者	佐賀市在住で、発達障がいの診断を受けた就学前の児童とその保護者				
令和3年度 主な活動実績	市直営の児童発達支援事業所「クラスルームという」（佐賀市保健福祉会館4階）で、個別療育及び集団療育を実施。 延べ利用者数：2,048人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,125	19,749			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
73	73 66	73	73	73		

成果指標②						単位
延べ利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,935	2,000 2,048	2,000	2,000	2,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	発達障がいの早期診断を受けた児童の減少に伴い「クラスルームという」の受け入れ者数が減少し、利用者数が減少したが、利用者の利用需要には十分応えられた。



成果目標達成に向けた対応策等
専門家からのアドバイスや研修をもとに指導員の療育スキルの向上と効率的な運営に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	子育て支援情報発信事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 子育て政策係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要	市の子育て支援制度や相談窓口等の情報をまとめた子育てガイドブック『Hug』について、関係機関等を通じ対象世帯へ配布を行なうほか、デジタルブック版のWEB掲載を行い、市民等が市の子育てに関する情報を必要な時に入手出来るようにしている。				
事業の対象者	子育て世帯の市民				
令和3年度主な活動実績	子育てガイドブック『Hug』の作成・配布を行った。またHugデジタルブック版のWEB掲載により情報発信を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	330			
うち佐賀市の負担額	-	330			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
子育てガイドブック『Hug』発行部数						冊
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	15,000 15,000	-	-	-		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	15,000	15,000
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	目標どおりの部数を発行し、子育てに関する情報を広く市民等に周知することができた。

成果目標達成に向けた対応策等
今後は紙媒体でのガイドブックの発行は行わない予定だが、SNS等を利用した情報発信を引き続き行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	児童センター管理運営事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	子育て総務課 児童育成係	担当課長名	山崎 浩二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	23安心して子育てできる環境の充実	
	基本事業	子育て環境の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	児童に健全な遊びを提供するための環境づくりと、心身の健康を増進し情操を育てるための環境づくりを目的として児童館を運営する				
事業の対象者	0歳から18歳未満の児童				
令和3年度 主な活動実績	児童館・児童センター5館の延べ来館者数：46,822人 (中央児童センター：32,000人/北部児童センター：5,216人/久保田児童センター：2,153人/川副児童館：4,369人/東与賀児童館：3,084人)				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	68,451	73,552			
うち佐賀市の負担額	64,013	69,048			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
児童館を利用して楽しかったと回答した児童の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	94 100	100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	来館児童に対し、家でできない様々な遊びを提供している点や、様々な行事・講座を実施している点において特に高い評価を得た。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症に伴い利用者数は減少しているが、来館する児童への遊びの指導及び行事・講座等の実施により、児童に様々な体験の機会を提供することによって利用者満足度を高めるよう努めていく。